

日本地震工学会「原子力安全のための耐津波工学の形成に関する調査委員会」の活動経過

実施項目	2012 年			2013 年				2014 年			
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12
1. 成果目標の検討			1回(12/6) 2回(12/27) 基本方針								
2 本論	各章の骨子、3.11地震時の対応(1):東電			3回(3/29)	4回(5/16) 5回(6/12)	6回、7回	8回、9回	10回	11回、12回	13回	
		地震・津波工学&原子力安全(2章)、 3.11地震時の対応(2):東北電					フラジリティ評価(8章)、 一般防災との関連(9章)				
		原子力発電所の地震・津波事故シナリオ(3章)、 地震・津波対策:中部電									
		原発の地震・津波安全に関する性能(4章)、 地震・津波対策:関電									
		リスク論に基づく津波防御の体系(5章)、 他組織の取り組み(JSCE, JNES, JEA など)									
				津波の外力作用(6章)、国際的動向							
					津波防御の工学的方法(7章)						
3. まとめ								耐津波工学関連の解析コード(10章) 総説(1章), 耐津波工学の体系(11章)			
								報告書とりまとめ			
原発サイト視察					4/15, 5/10, 22, 24						
準備会・事務局打合せ	4/20, 5/25,	7/11, 8/2, 8/6, 8/7	11/27, 12/13, 20, 25	3/28	4/5, 5/9						
幹事会・特定課題討議		8/22, 9/18	10/11, 11/2, 11/21	2/13	4/10	7/1					
シンポジウム等の開催)			シンポジウム (JAEE, AESJ, JSCE)			
地震工学会							年次大会				
原子力学会		秋の大会		春の年会		秋の大会		春の年会		秋の大会	

+原発サイトの視察：(柏崎刈羽(5/15, 22)、浜岡(5/10)、美浜(5/24)／候補：福島第一 U5,U6、福島第二、女川、滋賀など)

+各章関係の発表の中に、原発サイトでの適用例を適宜含める